



総合学科推進部通信

第1号

令和6年7月2日

群馬県立渋川青翠高等学校

今年度も早いもので、3カ月が経過しました。本通信では総合学科である本校の特徴的な教育活動を随時紹介していきますが、今号では、第2学年の「自己探究セミナー」での新たな取り組みを紹介していきます。

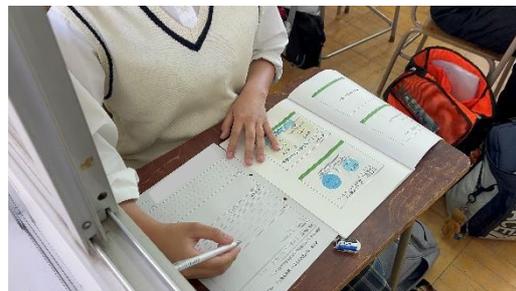
自己探究セミナーの新たな取り組み → 「地域を知る」

第2学年の自己探究セミナーにおけるキーワードは「深める」です。生徒が新たな課題を発見し、解決に向けて自ら考え、よりよい解決に向けて地域社会で行動する力や、多様な人々と協働して新たな価値を生み出す力の育成を図ることを目的とし、今年度より「地域を知る」という学習をスタートしました。

6/5(水)5・6 限に 5 講座を実施

渋川伊香保温泉観光協会と渋川市教育委員会生涯学習課のご協力をいただき、以下の5講座を開催しました。ねらいは、渋川市を中心とした地域の特性や課題を把握し、情報を収集・整理・分析することです。生徒は2講座を受講し、熱心に外部講師の話に耳を傾け、メモを取っていました。生徒たちの学習が「深まり」、行動する力に繋がるよう、今後も探究活動に力を入れていきます。

講座1	国際交流講座
講座2	渋川市の今の環境について
講座3	あんしん見守りネットワークって何だろう
講座4	榛名山噴火関連遺跡について学ぼう
講座5	伊香保温泉を中心とした渋川市全般の観光事業の現状や課題について



◎この取り組みは、6月19日(水)付の上毛新聞にも掲載されました。どうぞ一読ください。